

6月定例議会

平成24年6月議会定例会は、6月6日から8日までの日程で開かれ、次の内容について審議され可決されました。概要は次のとおりです。

1、前年度分の一般会計補正予算（第9号）と条例改正

●平成23年度の一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認がなされました。
歳入歳出それぞれ1億688万2千円を追加し、平成23年度の予算総額は歳入歳出それぞれ50億5,211万7千円となりました。
補正予算の内容は次のとおりです。

■歳入		■歳出	
	補正額		補正額
地方交付税	1億1,688万2千円	総務費	5,000万円
繰入金	△1,000万円	教育費	5,000万円
		予備費	688万2千円

●中山町町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認がなされました。

2、一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1億169万6千円を追加しました。これにより、平成24年度の予算総額は歳入歳出それぞれ47億9,569万6千円となりました。
補正予算の内容は次のとおりです。

■歳入		■歳出	
	補正額		補正額
県支出金	4,444万6千円	総務費	49万円
寄附金	100万円	衛生費	4,134万9千円
基金繰入金	5,600万円	農林水産業費	311万8千円
雑入	25万円	土木費	307万1千円
		教育費	5,406万7千円
		予備費	△39万9千円

3、中山町立図書館の図書等の取得

中山町立図書館の蔵書とするため、図書5,000冊（書誌データを含む）を取得します。

質疑

平成24年度一般会計補正予算（第1号）

問 農業振興費の暴風・豪雪被害対策事業費補助金の内訳は。

答 平成23年12月からの大雪等に伴い、被害を受けた果樹の補植及び農用施設の支援を行うもので、補植用の900本の苗木購入及びパイプハウス9棟の復旧事業に対する補助金を計上したものです。

問 町道維持・補修事業は、土橋滝2号線の法面を購入して修繕するものだが、法面は道路用地として購入していなかったのか。

答 融雪により崩落した法面に保護対策を講じ復旧するもので、道路構造上必要な場合はその用地を購入していますが、必要がない場合は購入していないのが一般的です。

問 中央公民館アスベスト除去工事の内容は。

答 耐震化工事の設計の際に指摘を受け、検査機関に依頼したところ、大ホールやロビー、廊下等の一部からアスベストが検出されました。この度の工事により、中央公民館で使われているアスベストは全部撤去する予定となっております。

問 町施設のアスベストについては、除去工事等が全て終了していたのではないのか。

答 国からの通達に基づき、全施設について平成17年には分析調査及び飛散状況調査を行い、平成18年には除去工事を行っています。

その後、分析対象のアスベストの種類が拡大したこともあり、現在もアスベストが使われている施設がありますが、飛散もなく非常に安定している状況にあります。十分に経過を観察し、今回の耐震化工事以外にも、増改築や解体時など対応が必要な場合には、すぐ対応したいと考えています。

問 中央公民館は耐震化工事のため9月末まで全館休館と追加工事により工事期間はどうか。

答 改めてアスベスト除去工事の設計をすることになり、その結果にもよりますが、3か月程度は延長となり12月は過ぎるのではないかと考えています。

町立図書館の図書等の購入

問 今年度中に5千冊を購入するものだが、その内容や種類を伺いたい。

答 利用者からの要望図書や児童図書、話題の図書や受賞作等をはじめとする新刊図書等を優先して購入したいと考えています。

一般質問

渡辺 博文 議員



①なかやま西部工業団地の企業誘致について

問 平成18年7月に分譲を開始した「なかやま西部工業団地」は、3分の2弱が残っている状況にあるが、いつまでの完売を予定しているのか。

また、昨年3月11日の大震災により事業再開できない被災地の企業に対して、条件つきで無償貸与してはどうか。例えば「本社を中山町に移すこと」「従業員の半分は中山町から雇用すること」「将来、軌道に乗ったら買ってもらうこと」などを条件にすることは考えられないか。

答 現在の実績は、4社に16860m²を分譲しているほか、1社との間で7567m²を賃貸契約しており、分譲・賃貸の進捗率は、36.98%となっています。土地開発公社では、平成25年度までを目標とした販売計画を掲げ、



町立図書館「ほんわ館」